

星をみよう!!

観望会のご案内

札幌市青少年科学館

問い合わせ：011-892-5004（科学館天文係）

★昼間の星をみよう

日 程 土曜日11:45～12:15
(受け付け11:00～
1階エントランス)

場 所 科学館屋上天文台

観望対象 金星、アークトゥルス、ベガ等

定 員 先着15名

★科学館天体観望会

日 程 11月18日(土) 18:30～20:00

場 所 科学館正面玄関前

観望対象 秋の星座の星

日 程 12月16日(土) 18:30～20:00

場 所 科学館正面玄関前

観望対象 秋から冬の星座の星

札幌市天文台

問い合わせ：011-511-9624（札幌市天文台）

★昼間公開

日 程 火曜日
10:00～12:00
水曜日～日曜日
10:00～12:00、14:00～16:00

観望対象 太陽

★夜間公開

日 程
●11月 18:00～20:00
17日(金) 18日(土) 19日(日)

観望対象 秋の星座の星

●12月 18:00～20:00
15日(金) 16日(土) 17日(日)

観望対象 秋から冬の星座の星

プラネタリウム利用案内

プラネタリウムの内容は、職員による星空生解説 + プラネタリウム番組 の計50分間です。
(「おぼけのマールとゆめのとびら」「ほしをつかまえたおうじ」は計30分間)

★プラネタリウム入場時刻(11・12月) ※11/10・11の4回目は字幕付きの投影となります。
※プラネタリウム祭り期間(12/2・3・9・10)は、別スケジュールとなります。

		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
11月	平日	10:15 団体専用 番組は団体の希望による	11:30 団体優先 おぼけのマールとゆめのとびら	12:45 団体優先 ダークユニバース	14:00 あかしなお菓子なあまのがわ	15:15 銀河鉄道の夜
	土・日・祝	10:15 銀河鉄道の夜	11:30 おぼけのマールとゆめのとびら	12:45 銀河鉄道の夜	14:00 あかしなお菓子なあまのがわ	15:15 今日の星空(生解説のみ)
12月	平日	10:15 団体専用 番組は団体の希望による	11:30 団体優先 おぼけのマールとゆめのとびら	12:45 団体優先 ダークユニバース	14:00 銀河鉄道の夜	15:15 今日の星空(生解説のみ)
	土・日・祝	10:15 銀河鉄道の夜	11:30 ほしをつかまえたおうじ	12:45 ダークユニバース	14:00 銀河鉄道の夜	15:15 今日の星空(生解説のみ)

★プラネタリウム番組

ほしをつかまえたおうじ こんな方におすすめ ちいさなお子さまと保護者 「ほしにねがいをいえばゆめがかなう」おうじはほしをつかまえて、なにをおねがいですのしょう。札幌在住の絵本作家そら氏原作。 当館オリジナル番組	おぼけのマールとゆめのとびら こんな方におすすめ ちいさなお子さまと保護者 「おぼけのマール」がプラネタリウムにやってきた！マールが星のお勉強…と思いきや！カワイイ冒険のはじまりです。 当館オリジナル番組	あかしなお菓子なあまのがわ こんな方におすすめ 小学校低学年以上 白くほんやりと見える天の川。ケーキ屋さんのホイップと、魔法使いのミルクーが宇宙に飛び出して天の川の正体にせまります。 当館オリジナル番組	ダークユニバース こんな方におすすめ 小学校高学年以上 (天文分野の専門知識に触れたい方) 見えないけれど確実にそこにある、ダークマターとダークエネルギー。謎の存在であるこれらにスポットをあて、宇宙の謎に迫る！ 当館オリジナル番組	銀河鉄道の夜 こんな方におすすめ 小学生以上 宮沢賢治原作の「銀河鉄道の夜」をKAGAYA氏がプラネタリウム番組化。鉄道が星座や銀河の中を走り抜けます。 当館オリジナル番組
今日の星空 こんな方におすすめ 小学生以上 (星空解説をたっぷり聞きたい方) 全編職員による生解説。当日の星空や旬の話題をたっぷりお届けします。約2ヶ月毎に変わるテーマ解説として、「国際宇宙ステーション」についても紹介します。				

※投影の中止または内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
※開演の5分前に発券を終了いたします。開演後は入場できません。(各回定員200名)
※Tモード付き補聴器で、音声を拾うことができます。

休 館 日	11/6・7・13・20・24・27・28、12/4・11・18・25・26・27・28・29・30・31
観覧時間	5月～9月：午前9時から午後5時まで、 10月～4月：午前9時30分から午後4時30分まで (入館は閉館の30分前まで)

観覧料	大人	中学生以下	
展示室	700円(500円)	無料	
プラネタリウム	500円(360円)	無料	

※()は、敬老手帳、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示の方。

— 科学の今と未来をつなぐ —
札幌市青少年科学館
 Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目
 TEL:011(892)5004 FAX:011(894)5445 ホームページ: <http://www.ssc.slp.or.jp/>



札幌市青少年科学館天文リーフレット

星空散歩

2017年
11・12月号
VOL.74

PICK UP!

プラネタリウム祭り

普段は見られないプラネタリウムや、
いろいろなイベントが盛りだくさん!

日 程 12月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)

一番近くの銀河

私たちの銀河系から一番近い銀河*1を知っていますか？
 アンドロメダ座の腰のあたりにあるアンドロメダ銀河という銀河です。近いといっても地球からは光の速さで230万年かかる距離*2です。私たちの銀河系とアンドロメダ銀河は引き合っており、40億年後には合体して新しい銀河になると言われています。

※1:銀河系と同じくらい大きさのもの。 ※2:「天文年間2017」より



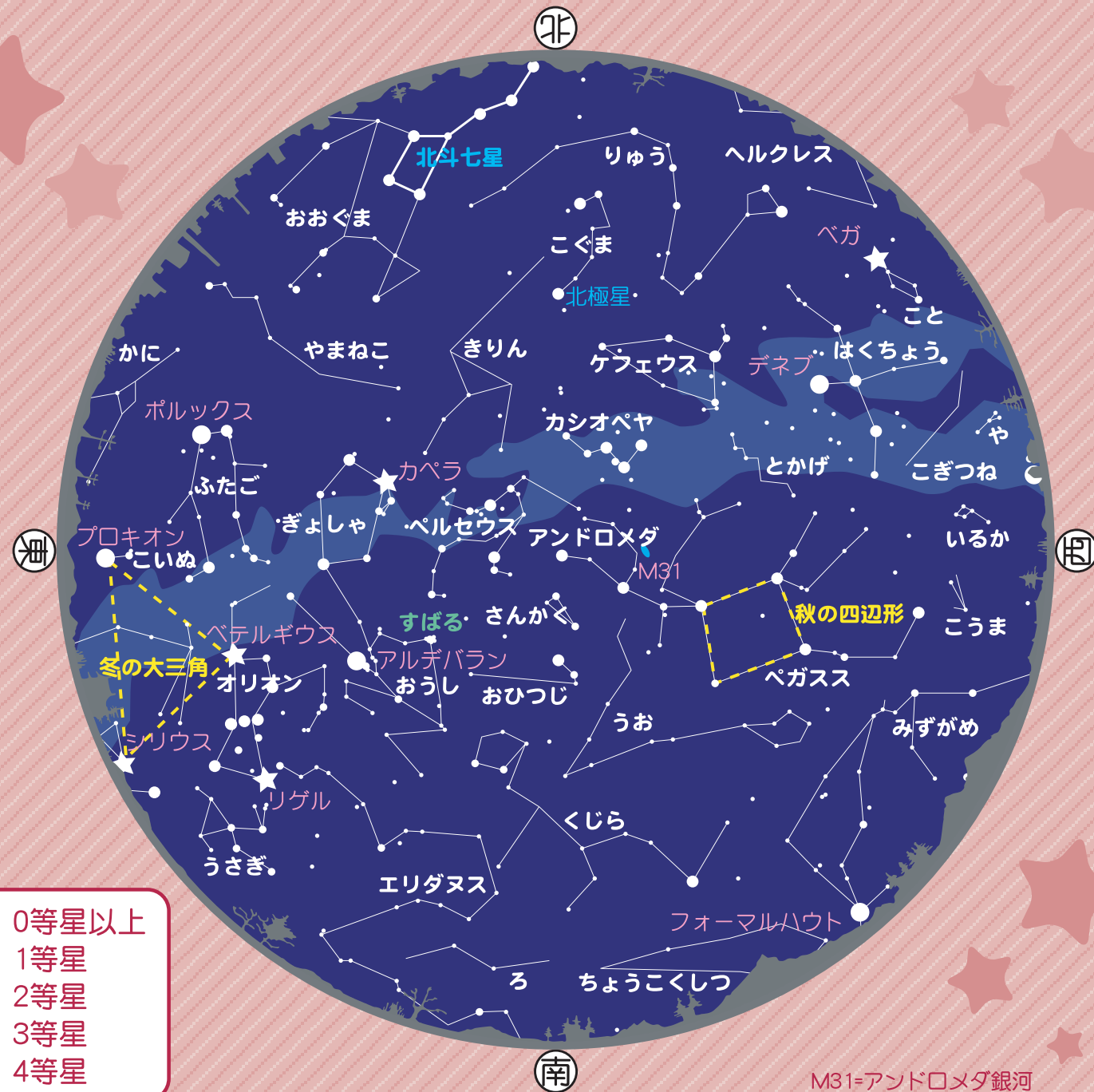
2013年撮影

今回の表紙写真は「カシオペア座」

撮 影：札幌市青少年科学館 天文係 磯貝 なゆた
 撮影日：2016年9月11日
 撮影地：新篠津村
 データ：Canon6D(24mmF2)ソフトフィルター使用

Wの形が有名なカシオペア座ですが、秋の空ではひっくり返ったMの形に見えます。
 天の川の中に位置しており、周りには無数の星たちが輝いています。

2017年11・12月の空



M31=アンドロメダ銀河

秋から冬へ季節が移り変わり、夜が長いこの時期はゆっくりと星を見ることができます。「秋の四辺形」を含むペガスス座が西の空に傾く頃、空の高い所には、アンドロメダ姫を救った勇者ペルセウス座の姿が見られます。

また、東の空からは街明かりの中でも見つけやすい「冬の三大角」が姿を表します。三角をつくる星の一つ、ベテルギウスを含むオリオン座は、明るい星をたくさん含む砂時計のような形が特徴的です。

星図の使い方

①星図は空にかかげて使います。



②空にかかげたら、自分の向いている方角と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。



星図のように見える時刻

11/1
23時ごろ

12/1
21時ごろ

※惑星はこの時間、見るできません。

月と惑星のあんない

12月中旬、日の出前の南東の空では、細い月が惑星の側を通る様子が見られます。まずは明るい木星を見つけやすいでしょう。

木星から少し高いところには火星が見つかります。その近くには春の星座であるおとめ座の1等星スピカがあります。朝早い時間ですが、早起きして探してみましよう。



月のかたち

○満月 11/4、12/4 ●下弦 11/11、12/10
●新月 11/18、12/18 ●上弦 11/27、12/26

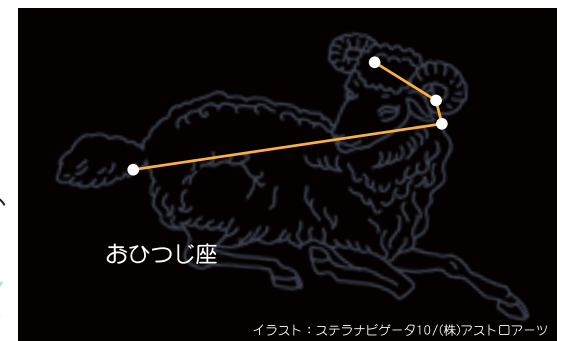
せいぎのまはなし

おひつじ座のおはなし

アンドロメダ座の近くには、お誕生日星座のひとつ、おひつじ座を見つけることができます。歴史は古く、約2000年前から知られていた星座です。おひつじ座は、金色の毛を持つ空飛ぶ牡羊(おひつじ)の姿とされています。国を追われることになった王子と王女を、神様の使いとして助けたと言われています。

<みつけかた>

おひつじ座で目立つのは頭の部分です。「羊の頭」を意味する2等星ハマルを目印に、ひらがなの「へ」の字を裏返したような星並びが見つかります。全体的には明るい星は多くはないため、近くのアンドロメダ座や秋の四辺形をきっかけに探してみると良いでしょう。



イラスト：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ